

1 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)~(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)~(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字子は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 宿舍に到着する。
- (2) 勝利の栄冠に輝く。
- (3) 試合で全力を尽くす。
- (4) 友人に本を勧めらる。
- (5) 毎朝七時に起きる。
- (6) 教室を美しくタモツ。
- (7) ウチユウ飛行士が帰還する。
- (8) キュウキュウ箱を常備する。

2 次の文中のA、Cの——を付けた「」のうち、一つだけ他とはたらきの異なるものがある。その記号を○で囲みなさい。

今週の土曜日に、駅前^Bのホールで、私の好きな歌手がコンサートを行う予定だ。^A

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

現在ではあまり見かけなくなりましたが、昔は木でできた鍋蓋をよく目にしました。丸い木の円盤の上に、一本の棧がくっ付いているものです。ご飯を炊く釜の蓋は、不必要とも思われるくらい分厚くて、付いている棧は2本でした。



木でできた鍋蓋

この鍋蓋、一見簡単な構造のようですが、なかなか良く工夫された優れたものだ、私 생각합니다。木を使う技が、実に端的に表れた道具だと思つてです。鍋は、中で汁などを煮るものだから、その蓋は高温の湯気に曝されます。そこに、単なる一枚の木の板を使つたら、どうなるでしょうか。蓋の裏側は湯気に当たって湿り、そして温度が上がります。湿つたうえに温度が上がるので、板は激しく膨張します。蓋の表側は外気に接していますから、膨張することはありません。片側だけ膨張した板は、行き場の無い力をぶつけるようにして反り返ります。

② そんな現象を、実際に見たことがあります。あるお宅で鍋パーティーがあり、

1 端的に①とあるが、次のうち、このことばの本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 一時的に
- イ 明白に
- ウ 詳細に

② そんな現象とあるが、本文において、これはどのような現象のことか。その内容についてまとめた次の文の a に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から九字で抜き出さない。また、b に入る内容を、本文中のことばを使って十字以上、二十字以内で書きなさい。

鍋蓋に a を使うと、湯気の当たる蓋の裏側だけが b 現象。

3 実に合理的で、良く工夫された構造とあるが、木でできた鍋蓋の構造の工夫とその効果について、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。a、b、c に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出さない。ただし、a は六字、b は九字、c は九字で抜き出すこと。

構造の工夫	構造の工夫
○ 棧は持ち上げて外れないが、蓋に対してスライドはできるので、蓋が膨張しても棧から b ため、鍋蓋が壊れてしまうことはなく、棧は反り止めとしての役割を最大限に發揮する。	○ 蓋の木目とクロスする方向に棧が付けられている。○ 蓋に掘った長い溝に棧の縁が滑り込むようにして嵌め込まれており、そのうえ、蓋の溝と棧の縁は a で組み合わさる「蟻」と呼ばれる構造になっている。
○ 反り止めとして不可欠な棧が c も果たす。	

(一般入学者選抜)

呼ばれて行きました。大鍋を焚き火にかけて煮るのですが、その鍋の蓋は壊れて棧が無くなっていました。つまりただの円盤だったのです。それを鍋に載せて使ったのですが、加熱が進むにつれて蓋が反って丸まってしまい、ポテトチップのような形になりました。そうすると、反って持ち上がった縁から湯気が漏れてしまい、蓋としての役割も果たせなくなりました。居合わせた人たちは、極端に変形したその蓋を見て、大笑いしました。

蓋に付いている棧は、反り止めの役目を果たしているのです。ただの一本の棒、あるいは一枚の細長い板と呼ぶようなものですが、それが付いているだけで蓋の反りが止まるのです。ただし、反りを止める方向に付けてあることが重要です。板は繊維が走っている方向には反らず、繊維に直交する方向に反ります。だから、棧は蓋の木目とクロスする方向に付けなければなりません。ところで、ここで問題なのは蓋と棧がどのようにくっ付いているかです。良く見てみると、蓋に長い溝が掘ってあり、それに棧の縁が滑り込むようにして嵌め込んであります。しかも、溝の断面の形は、蓋の表面から奥へ行くほど広がっています。その溝に嵌め込める縁は、同じように末広がりの形に加工してあります。このように末広りの形で組み合わせる構造を、木工用語で「蟻」と呼びます。末広りの三角の形が、蟻の頭に似ているから、そのような名前が付いたのだと言われています。

この「蟻」の構造であれば、蓋と棧は密着して外れません。末広がりだから、引っ張っても剥がれないのです。しかも、ここが重要なところなのですが、蓋に対して棧がスライドすることはできません。棧を持ち上げても外れませんが、棧の長さ方向には滑らせることができますというわけです。

木の板は、普通の大気中に置いても、湿度湿度の変化に応じて膨張、収縮をします。特に、繊維に直交する方向には、大きく動きます。それが鍋蓋となれば、湯気に当たるので大きく膨張します。一方、棧は繊維方向に長い部材なので、長さは変化しません。その両者が釘などでガッチリと固定されていたら、膨張しようとする蓋が棧で拘束されるので、大きな力が働いて壊れてしまいます。スライドできる構造だから、蓋が膨張しても棧から余計な力を受けないのです。

蓋に棧をスライドさせて嵌め込むことで、しかも「蟻」の形の溝に嵌め込むことにより、棧は反り止めとしての役割を最大限に發揮できるのです。そして反り止めとして不可欠な部材である棧が、蓋を持ち上げるとき取っ手としての役割も果たしています。実に合理的で、良く工夫された構造だと思います。(大竹収「木工ひとつばなし」による)

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

宗祇法師、霜月の比、雪ふりに馬にのり、あづまへ下られる。越川をとほられければ、馬子いふやう、そうきさま、此のゆきに一句いたしましたといふ。何としたぞととほられければ、雪ふればかはらの石も頭巾きるといふ。宗祇、卜の句を付けやうとて、日がてりやぬぐといはれた。

(注) 宗祇法師 室町時代の連歌師。越川 川の名。馬子 馬に人や荷物を乗せて運ぶ人。武藤禎夫 岡雅彦 『朝本大系 第七巻』 東京堂出版(一九七六年三月)

1 とほられければを現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

2 何としたぞとあるが、次のうち、このことばの本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア なげ句を作ったのか。
- イ どのような句を作ったのか。
- ウ どのように句を作ればよいか。

3 次は、Tさんがこの文章を読んだ後に書いた【鑑賞文の一部】です。【鑑賞文の一部】中の a、b に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出さない。ただし、a は二字、b は七字で抜き出すこと。

【鑑賞文の一部】 この文章では、馬子が、かわらの石に雪が積もっている様子をかわらの石が頭巾を a といふたとえを用いて句を詠み、その句に対して、宗祇法師が下の句を付けた場面が描かれています。宗祇法師は、馬子が詠んだ句のたとえをふまえて、日が照ってかわらの石に積もった雪がとけていく様子を「b」と詠んだと考えられます。このように、比喩を用いて句を詠んだところや、馬子が作った句をふまえて、宗祇法師がとっさに句を付けたところに私はおもしろさを感じました。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

1 ㉠とあるが、次のうち、㉡という熟語の構成について説明したものとして最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 前の漢字があとの漢字を修飾している。
- イ 似た意味をもつ漢字を組み合わせている。
- ウ 反対の意味をもつ漢字を組み合わせている。
- エ あとの漢字が前の漢字の目的や対象を示している。

2 本文中には次の一文が入る。入る場所として最も適しているものを本文中の【ア】～【エ】から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

3 ㉢とあるが、Aさんたちは授業において、「筆者がどのように述べるのは、砂漠をどのようなところと考えているからか」ということについて、本文の内容をもとに話し合うことになりました。次は、Aさんたちの【話し合いの一部】です。

【話し合いの一部】

Aさん 筆者は、砂漠をどのようなところだと考えているんだろう。まずは本文をもとに、筆者が砂漠でどんなことを考えていたかをふりかえってみよう。

Bさん 筆者ははじめ、砂漠に身を置くと、a が当たり前のようになり、なぜ日本の生活にはあんなにもたくさんのものがあるのかということに疑問を感じていたよね。そして、それらのものは、ぜんぶ余計なものではないかと考えていたよ。

Cさん そうそう。でも、一方では、そういった生きてゆくうえで必要なものを上まわる余分なものこそが文化ではないかとも述べていたよね。確かにそうだね。ただ、余分なものこそ文化であるにちがいないが、そのすべてが文化であるわけではないと考えていたよ。そして、もういちど余分なものなかで、b 必要があるのではないかと考えていたよね。

Aさん 筆者は砂漠とくらべることで、現代の文明社会に生きる人びこの生活を省みて、考えを深めていたということだね。だから筆者は砂漠のことを、反省を私にもたらす世界であると述べていて、c となるほど。そういう意味で、筆者にとって砂漠は、自分自身の姿を見に行くところだったんだね。

Cさん (以下、話し合いは続く)

五 あなたの考える、読書の魅力はどのようなことですか。次の条件1・2にしたがって、あなたの考えを別の原稿用紙に書きなさい。

- 条件1 具体例や自分の体験を挙げながら説明すること。
- 条件2 百八十字以内で書くこと。

(1) 【話し合いの一部】中のa、b、cに入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、a は九字、c は六字で抜き出すこと。また、b に入る内容を、本文中のことばを使って二十字以上、二十五字以内で書きなさい。

- (2) 次のうち、【話し合いの一部】中の——で示した発言を説明したものとして最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。
- ア それまでに出了た発言のなかで疑問に思ったことを質問している。
- イ それまでに出了た発言の誤っている部分を指摘して訂正している。
- ウ それまでに出了た発言とは反対の立場から意見を述べている。
- エ それまでに出了た発言の内容を整理しながらまとめている。

受験番号 番

得点

〈問題五を除く〉

二										
3			2					1		
c	b	a	b					a	ア	
										湯気の当たる蓋の裏側だけが
										現象。
										10

22	3	3	3	6	4	3	採点者記入欄
----	---	---	---	---	---	---	--------

一								
2	1							
A	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
B	キユウ	ウ	タモ	オ	勸	尽	米	宿
C	キユウ	チュウ	つ	きる	める	くす	冠	舎

19	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	採点者記入欄
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

四									
3								2	1
(2)	(1)							ア	ア
	c	b					a		
ア		のではないか				のなかで、	もういちど余分なもの		
イ									
ウ									
エ									

25	4	4	6	4	4	3	採点者記入欄
----	---	---	---	---	---	---	--------

三				
3		2	1	
b	a	ア		
		イ		
		ウ		

12	3	3	3	3	採点者記入欄
----	---	---	---	---	--------

